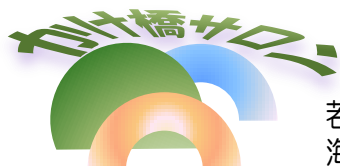




一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

海外研究滞在 セミナー



若手研究者が海外での論文投稿・学会発表について参加者の疑問に答えます。
海外研究の成果報告について学びたい方、お問い合わせのうえご参加ください。

第7回 国際学会発表

2012年6月15日(金)
1:20pm - 2:20pm

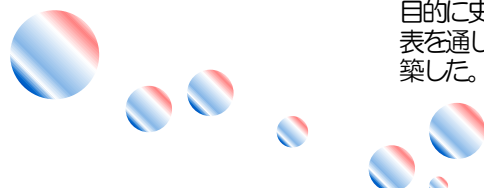
今回の座長

矢野順子さん
2011年8月~10月
フランス・英国滞在

言語社会研究科特別研究員。博士(学術)。東京外国語大学、上智大学非常勤講師。
専門はラオス地域研究(近現代史)。仏植民地時代以降、1975年の社会主義革命までのラオスの国民形成と言語ナショナリズムについて論じた博士論文は、第9回アジア太平洋研究賞を受賞するなど、高い評価を受けた。パリ滞在中は、植民地時代について研究を深めることを目的に史料収集に専念し、ケンブリッジでは国際学会発表を通して世界の東南アジア研究者とネットワークを構築した。

会場

東キャンパス
マーキュリータワー
4階 Refresh Room



お申し込み・お問い合わせ先
int-wp.g@dm.hit-u.ac.jp
学務部国際課
組織的な若手研究者等海外派遣プログラム

かけ橋サロン

第1部 プロローグ
海外研究滞在体験談

第2部 研究準備、研究・調査手法、成果報告
研究準備/文献調査/フィールド調査/海外学会・セミナー報告/海外論文投稿

第3部 エピローグ
アカデミックキャリア形成

